

氏名 佐々木豊志 (SASAKI Toyoshi)

所属 総合経営学部経営学科 職種 教授

生年月日 1957年4月18日

[履歴]

[学歴]

1981年3月 筑波大学 体育専門学群卒業

2006年3月 宮城大学大学院 事業構想学研究科 修士課程修了

2015年3月 宮城大学大学院 事業構想学研究科 博士後期課程修了

[学位]

1981年3月 体育学 学士 筑波大学

2006年3月 事業構想学 修士 宮城大学大学院

2015年3月 事業構想学 博士 宮城大学大学院

[職歴]

1982年4月～1995年4月 株式会社日本テレビサービス

1996年4月～現在 くりこま高原自然学校 設立 代表

2003年6月～現在 NPO 法人くりこま高原・地球の暮らしと自然教育 研究所 設立 理事長

2009年4月～2020年3月 東北福祉大学 非常勤講師

2011年7月～2023年3月 NPO 法人日本の森バイオマスネットワーク 代表理事

2013年4月～現在 一般社団法人 RQ 災害教育センター 代表理事

2013年4月～2021年7月 都留文科大学 非常勤講師

2016年10月～2017年3月 青森大学 客員教授

2017年4月～現在 青森大学総合経営学部経営学科 教授

[受賞]

2008年10月 「canpan ブログ大賞」(日本財団) 受賞

2008年11月 「社会貢献者表彰」(公益財団法人社会貢献支援財団) 受賞

2008年11月 「青少年健全育成成功労者表彰」(内閣府) 受賞

2012年2月 「毎日地球未来賞・クボタ賞」(毎日新聞社) 受賞

2012年2月 「低炭素杯 2012・地域貢献活動賞」(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット) 受賞

2012年7月 「第6回キッズデザイン賞」(キッズデザイン協議会) 被災地支援施設「手のひらに太陽の家」受賞

2012年10月 「第7回モンベル・チャレンジアワード」受賞 (モンベルグループ)

[所属学会] 日本野外教育学会、日本環境教育学会、東北地理学会、日本社会貢献学会

## [教育活動]

### [担当科目]

総合経営学部：経営基礎演習（1年）、経営学演習（2年）、専門演習（3年）、専門演習（4年）、保健体育教育育法Ⅳ、観光マネジメント演習Ⅰ・Ⅱ、体験型観光事業論Ⅰ・Ⅱ、ツーリズム概論Ⅰ・Ⅱ、サービス産業論

### [卒業研究指導]

2020年度 専門演習 15名

2021年度 専門演習 13名

2022年度 専門演習 15名

### [ゼミ指導]

2017年度 1年ゼミ17名、2年ゼミ16名

2018年度 1年ゼミ18名、2年ゼミ15名

2019年度 2年ゼミ17名、3年ゼミ15名

2020年度 2年ゼミ17名、3年ゼミ14名、4年ゼミ15名

2021年度 2年ゼミ12名、3年ゼミ15名、4年ゼミ13名

2022年度 1年ゼミ17名、3年ゼミ9名、4年ゼミ15名

### [教育指導に関する特記事項]

2017年3月まで、自然学校と呼ばれる民間の教育事業体で自然体験を通じた野外教育、冒険教育、環境教育が指導に携わってきた。人間社会の変化、科学技術進歩やグローバル経済の発展、このような社会の中で変化してきた国の教育が見落としてきた「地域に根ざした教育」に様々に取り組んできた。自然学校が公の学校と一線を画している部分は、形式知をより多く覚える概念学習ではなく、暗黙知を獲得するためにプロセスの中で考える体験教育をベースにしている。

## [研究活動]

[研究テーマ] 野外教育・冒険教育・環境教育・事業構想学

[著書、論文、総説]

著書

- ・共著「日本型環境教育の知恵」（2008年9月）小学館 96-111頁
- ・共著「ESD 拠点としての自然学校」（2012年2月）みくに出版 21-25頁
- ・共著「環境教育辞典」（2013年7月）教育出版（株） 303頁
- ・単著「環境社会の変化と自然学校の役割—自然学校の期待される3つの基軸」（2016年12月）
- ・共著「持続可能な地域と学校のための学習社会文化論」（2017年3月）学文社 36-42頁
- ・共著「DX時代の人づくりと学び」（2022年12月）人言洞 135-145頁

論文

・「不登校・引きこもり・ニートを支援する自然学校の社会的役割に関する研究」宮城大学大学院事業構想学研究科修士論文,2006年3月

・「自然体験学習から災害教育へー阪神・淡路大震災から東日本大震災までの自然学校指導者の災害への取り組みー」広瀬敏通・佐々木豊志・降旗信一（日本環境教育学会「環境教育」,22巻,2号,74-81頁,2013年1月（査読有）

・「震災体験から立ち上がり ESD を実践する自然学校ーくりこま高原自然学校の事例からー」佐々木豊志（日本環境教育学会「環境教育」23巻,3号,60-68頁,2014年3月）

・「被災地における自然学校の可能性と課題ー都市農村交流による新たな学びの 拠点ー」李曉嘩・佐々木豊志（日本環境教育学会「環境教育」24巻,2号,2014年11月）

・「環境社会の変化と自然学校の役割」宮城大学大学院事業構想学研究科博士論文,2015年3月

#### [学会発表]

・2009年6月21日第12回日本コミュニティ心理学会 基調講演「岩手・宮城内陸地震後のコミュニティ再生〜くりこま高原自然学校の取り組み〜」

・2009年10月3日東北地理学会大会「震災復興とジオパーク・新たな地域資源を活かすための地域の取り組み」岩手・宮城内陸地震から荒砥沢ダム上流部地すべり 地形の活用の課題〜」

・2010年6月20日日本野外教育学会13回大会シンポジウム「野外教育における野外という環境の意味」

・2011年6月18日日本野外教育学会関東支部会報告「被災地の現状と野外教育ができること」

・2012年12月15日日本野外教育学会甲信越支部会 講演「震災復興から学ぶ自然体験活動の可能性」

・2013年9月11日日本レジャー・レクリエーション学会第43回大会 基調講演「Re-Create:今「生きる力」を試されている」

・2015年4月25日日本野外教育学会北海道東北支部会 講演「地域で展開する小さな自然学校の役割」

・2019年3月21日第130日本森林学会 S10-5「学生の SDGs のアクション・森林資源と学生の研究と学びの場」

#### [その他の活動]

自然体験活動と自然環境に配慮した持続可能な社会づくりに関わる活動。  
環境教育、野外教育、森のようちえん、日本の森バイオマスネットワーク、災害教育、災害支援 活動

[公開講座、講演、セミナー] (抜粋)

- ・2006年2月4日 4th International Adventure Therapy Conference 「Adventure Therapy and Therapeutic Culture in Japan the real life therapy for Futoko・Hikikomori・NEET & Autistic children.」
- ・2006年6月27日 幼児体育指導者講習会 宮城県教育庁
- ・2006年9月9日 自然体験活動指導者講座 二戸市教育委員会
- ・2007年5月4日 防災教育講演 仙台西高校
- ・2008年12月14日 地域と防災 周南市
- ・2009年8月12日 自然体験指導者養成講座「体験活動の指導」宮城県教育庁
- ・2010年1月19日 青少年問題調査研究会 内閣府
- ・2010年7月3日 「子ども・暮らし・環境」フォーラム4学会+ESD 研究センター 「生活を創る、人と関わる。生き方学びの小さな学校〜くりこま高原自然学校の場合〜」
- ・2012年2月25日 環境エネルギー未来型 山村暮らしセミナー 「バイオマスエネルギーと暮らし」福島県県南地方振興局
- ・2012年3月5日 日米円卓会議 アメリカ大使館「ソーシャル・メディアの活用：災害・復興支援を迅速に・効果的に「震災で試されている“生きる力”」
- ・2012年3月11日 日中災害市民交流フォーラム 2011〜国境を越えた市民連携へ〜 「災害で試された自然学校の役割」
- ・2012年3月14日 自然体験活動推進議員連盟 第16回勉強会「自然体験活動の必要性について」
- ・2013年9月7日 登米市公衆衛生大会 基調講演「環境教育と木質バイオマス利用が創造する豊かな地域社会」
- ・2013年7月15日 日本学術会議 環境学委員会環境思想・環境教育分科会 3.11以後の環境教育検討小委員会 講演
- ・2013年11月22日 体験の風を起そうシンポジウム「子どもたちの未来に必要な体験活動」
- ・2014年8月21日 ESD 地球市民会議 国連大学「ステークホルダー円卓会議」
- ・2014年9月2日 中国自然学校シンポジウム in 大理 講演「自然学校と冒険教育」 「日本の森のようちえん」
- ・2015年3月17日 国連防災会議 サイドシンポジウム「災害ボランティアの生きる力調査報告」
- ・2015年4月10日 高尾の森自然学校開校式 基調講演「未来の森づくりと環境教育」セブンイレブン記念財団
- ・2015年12月5-6日 森のようちえん指導者養成講座 森のようちえん全国ネットワーク
- ・2016年8月4日 学校の森・子どもサミット夏大会「森林環境教育が暮らしに直結するために」林野庁・学校の森・子どもサミット実行委員会
- ・2016年9月3日 環境学習セミナー「暮らしを創造する生きる力を生む冒険、自然体

験」NPO 法人自然文化誌研究会

・2017年2月24日 自然から学ぶ場と人の全国フォーラム「パイオニア、今を語る」  
日本環境教育フォーラム

[学内各種委員]

2017年度：学生委員会委員、観光文化研究センター員、美術サークル顧問

2018年度：学生委員会委員、観光文化研究センターセンター長、自然サークル SDGs 顧問、美術サークル顧問

2019年度：観光文化研究センターセンター長、SDGs 研究センター副センター長 入試管理委員会委員、自然サークル SDGs 顧問、美術サークル顧問

2020年度：観光文化研究センターセンター長、SDGs 研究センター副センター長 自然サークル SDGs 顧問、美術サークル顧問

2021年度：観光文化研究センターセンター長、SDGs 研究センター副センター長 総合研究所副所長、自然サークル SDGs 顧問、

2022年度：観光文化研究センターセンター長、SDGs 研究センター副センター長 総合研究所副所長、自然サークル SDGs 顧問、